

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和08年06月22日

計画の名称	笛吹市における循環型都市・郷づくりの推進（第3期）（重点計画）														
計画の期間	平成30年度 ～ 令和04年度（5年間）													重点配分対象の該当	○
交付対象	笛吹市														
計画の目標	下水道整備を行い、市民がいつまでも住み続けられる安全・安心・快適な環境を創造する。														
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		415	A	415	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初	R2末	R4末
1	下水道処理人口普及率60.2%（H30年度当初）から63.7%（R4年度末）に増加させることを目標とする。※注1			
	下水道処理人口普及達成率 処理区内人口（人）／行政人口（人）	60%	61%	63%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
注1：H30年度に下水道処理人口普及率の見直しにより下水道処理人口普及率が下がってしまったため定量的指数の目標値等を修正 ※参考 H30年度当初 65.3% H30年度当初（見直し後） 60.2% R1年度末 61.1%												

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	笛吹市	直接	笛吹市	管渠（ 污水）	新設	下水道管渠布設	I=4.5m	笛吹市	■	■	■	■	■	415		—
											小計						415		
											合計						415		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

笛吹市上下水道事業審議会において実施

事後評価の実施時期

令和6年2月8日

公表の方法

市のホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

下水道処理人口普及率の目標値63.7%に対して令和4年度末実績値は63.1%であり、目標値を概ね達成して安心・安全な環境の創造に寄与した。

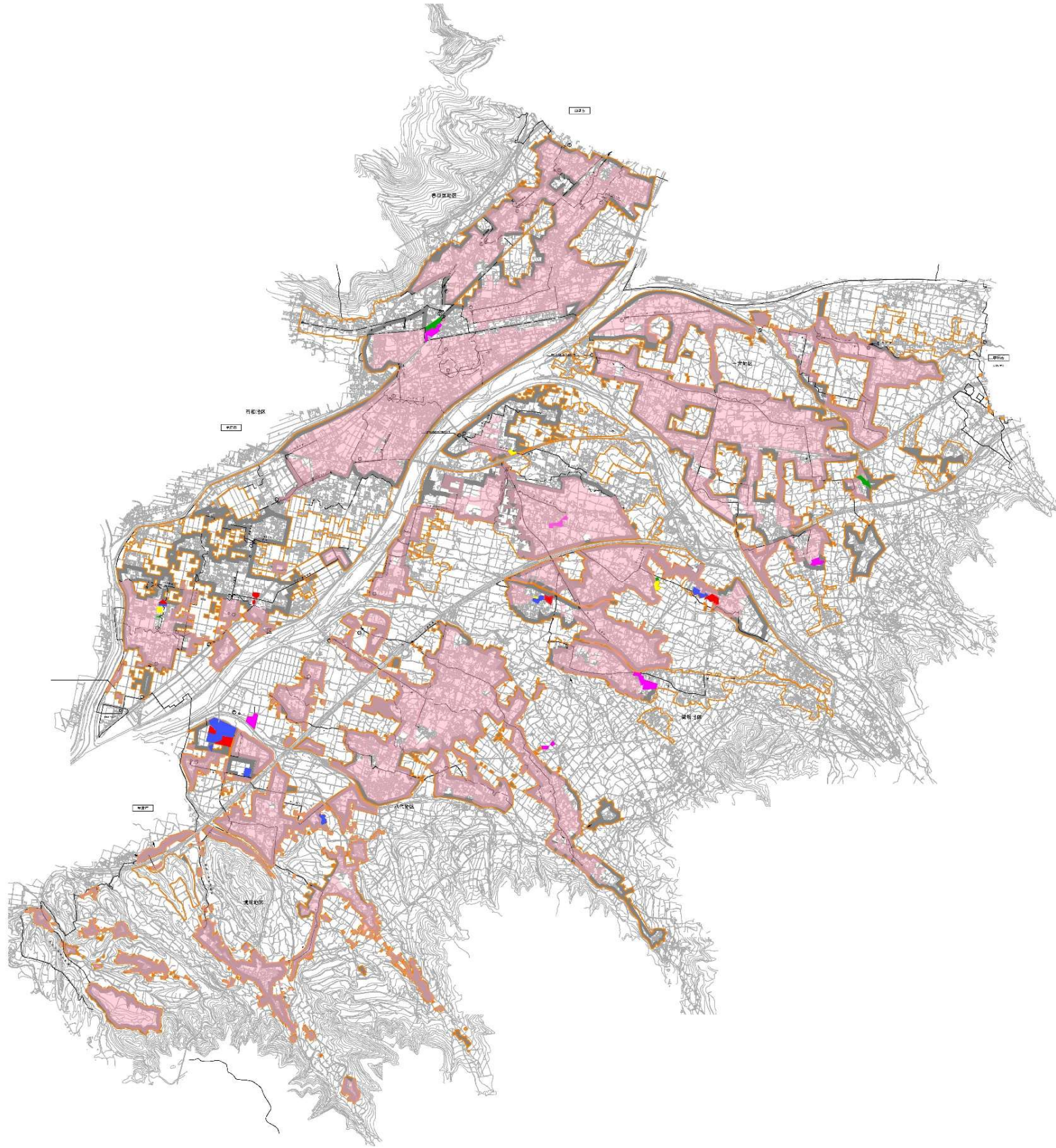
定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

目標値は概ね達成したものの、下水道処理人口普及率が63.1%であることから、今後も継続して社会資本整備総合交付金を活用しながら下水道の整備を精力的に行い、公衆衛生及び水環境の更なる向上を目指す。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道処理人口普及達成率		
	最 終 目標値	63%	最終目標値63.7%に対して最終実績値は63.1%であり0.6%の差が生じた。これについては、地域住民からの下水道整備の要望箇所を優先したことにより、人口密集地への下水道整備等、普及率の向上に即した効果的整備が行えなかったことが挙げられる。また市内産業導入地区の工業団地整備に伴う下水道管渠布設工事を優先したことも一つの要因として挙げられる。
	最 終 実績値	63%	

計画の名称	笛吹市における循環型都市・郷づくりの推進（第3期）（重点計画）
計画の期間	平成30年～令和4年度（5年間）



凡 例	
	全 体 計 画 区 域
	事 業 計 画 区 域
	令 和 4 年 度 整 備 区 域
	令 和 3 年 度 整 備 区 域
	令 和 2 年 度 整 備 区 域
	令 和 元 年 度 整 備 区 域
	平 成 3 0 年 度 整 備 区 域
	平 成 3 0 年 度 以 前 整 備 区 域